

★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号473にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号:472 1口1000円～ にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号:471 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。

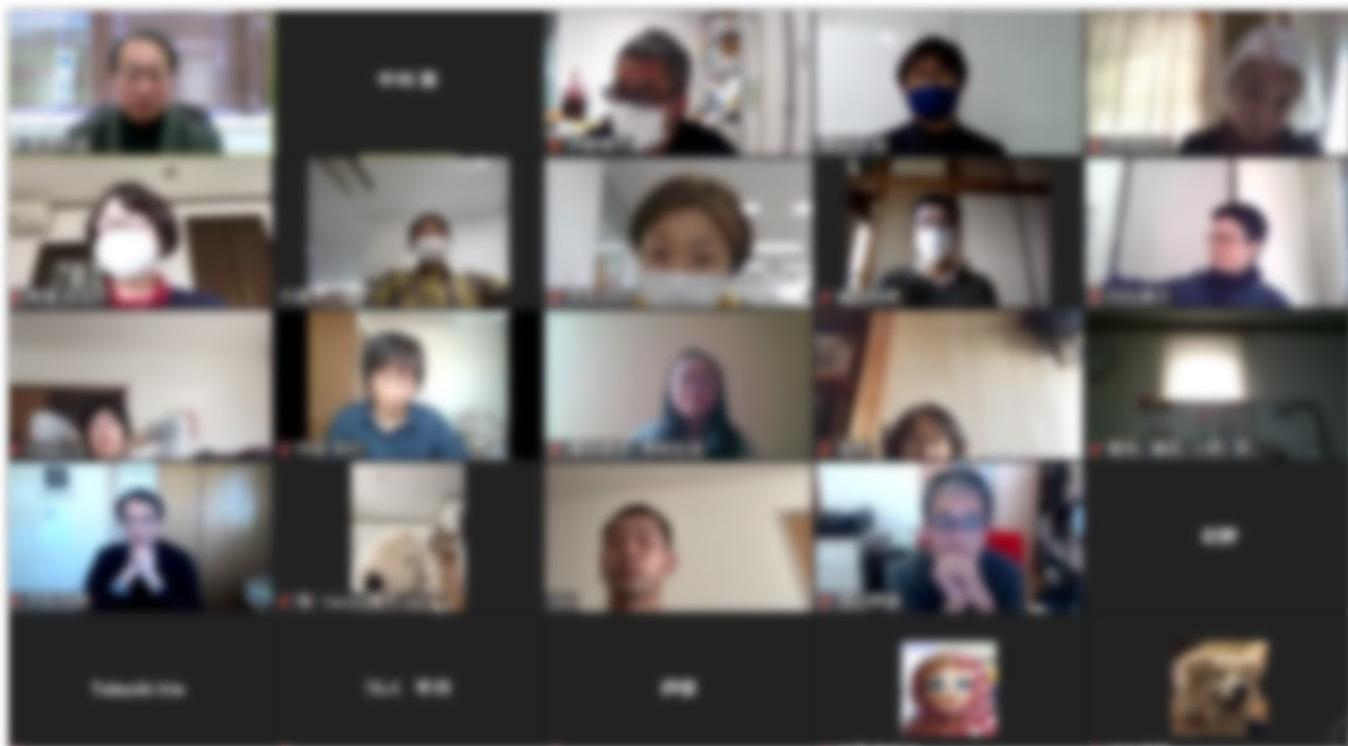
COOP-JOSO News Letter



2021年4月3回号 発行:常総生協広報G

2021年度活動テーマ(案)「笑顔で育む免疫力」

3.11から10年～未来につなげよう～ 高橋徳治商店高橋英雄社長 講演会報告



3月から約1ヶ月にわたり、カタログ本紙やnewsletter等で3.11から10年～未来へつなげよう～というテーマで様々な生産者の方々のメッセージや商品を伝えてきました。その一環として、3月6日(土)に高橋徳治商店・高橋英雄社長 講演会(交流会)を実施しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、当日は高橋社長は高橋徳治商店(宮城県・東松島市)よりオンライン(zoom)での講演となりました。当日は合計31名の参加となりました。

【主な講演内容】

- 震災当時の石巻市の状況(各団体の支援について)
- 被災後、看板商品である「おとうふ揚げ」の復活について
- 就労支援の受け皿となる野菜カット工場の設立について
- 参加者との意見交流会

講演では、震災当時の状況をスライド写真もふまえて詳しく説明いただきました。高橋徳治商店は単なる添加物使わず”素材を生きている練り物”を作るだけでなく、「地域に真に必要なとされる会社になる」という事が印象的でした。悲しみのどん底のから、新しいことにチャレンジする事は容易ではなく、社員や周囲と

時にぶつかり合い、励ましあい、協力し合って、現在に至っているのだと感じました。今回の交流会をきっかけにこれからの10年を組織全体としてどうすべきなのか、参加した生協職員が共に考え、悩み、着実に前進できるような組織になっていけるようにしたいと強く思いました。

※高橋徳治商店の3.11から10年～未来につなげよう～のメッセージは3月1回NewsLetter表紙に記載しています。詳しくは常総生協ホームページのnewsletterバックナンバーからご覧ください。

▼講演会の内容はYouTubeにアップしています。

高橋徳治商店 高橋英雄社長講演会(交流会)については、常総生協YouTubeチャンネルにアップしております。こちらのURLから視聴できますので、参加できなかった方はぜひ御覧ください。

<https://youtu.be/0Rw0TtAY1yA>

(※youtube→「常総生協」で検索すると「常総生活協同組合」のチャンネルが表示されます。ぜひチャンネル登録もお願いします)



東日本大震災および福島第一原発事故から10年という節目、また3月18日には東海第二原発差止訴訟の判決では原告側の「勝訴」という結果となりました。ここで終わりではなく、10年が経過してもなお影響が残っている被災地の現状を風化させず、これからも寄り添っていくためのスタートだと考え、引き続き生産者の皆さんと共に歩んでいきたいと思えます。

参加者の感想 ※紙面の都合上、一部抜粋して掲載しています。

「心に寄り添う姿勢」

商品とか復興とかに限らない、人間としての生き方にまで及ぶお話しに深く感銘しました。小学高学年の放課後活動や学習支援にかかわっていて、周囲はいかに学力を上げるかに傾注する中、違和感を感じていた私です。高橋さんのお話を聞いて、とことん「心に寄り添う」姿勢で行こうという考えに自信がわきました。今までは「生産者もいろいろ事情があるのだろう」と黙っていましたが、声を上げてより良い商品を目指す生産者にしなくてはいけない、これは組合員の務めでもあると思えました。素晴らしい企画でした。ありがとうございます。

(組合員：Oさん)

ユートピアは、利他的なもの

宮城で、いろんなことに想いを馳せながらお仕事されている人の言葉を聞くこと機会に感謝します。どんどん悪くなっている、という私自身の感触と同じことを言われていたのが興味深かったです。「他人の喜びが自分の喜び」と、感じられた時に「ユートピア」と書かれていて、利己的ではなく、利他的であることの大切さを再確認しました。にしなくてはいけない、これは組合員の務めでもあると思えました。素晴らしい企画でした。ありがとうございます。

(組合員：Kさん)

着地点ではなく、これがスタート

10年が経過し忘れかけていた震災当時の衝撃や混乱、その被害の大きさなどを改めて痛感しました。そこから現在に至るまでの大変な（という言葉だけでは不十分くらい様々な苦難や悲しみがあったかと思いますが）時間を乗り越えて、私達の元に届いている商品のありがたさと生産者の強い想いを感じることが出来ました。今回のイベントは10年目の着地点ではなく、10年が経過してもなお影響が残っている被災地の現状を風化させずこれからも寄り添っていくためのスタートだと思います。本当の意味での復興にはまだまだ膨大な時間がかかるでしょう。その現状を忘れず、生産者の想いを受け止めて伝える生協職員として、商品を利用する消費者として自分には何が出来るのかを考え続けていくことが大事だと感じました。

(職員：Yさん)

あの日の経験を糧に

あれから10年。あっという間です。当時の大石さんの行動の早さ、生産者を思いやる気持ち日帰りでも駆け付けた職員。そこに参加できたことも大きな経験です。当時の現地の風景やにおい、夕方になる

と満潮で道路が水だらけになるなど大変なことだらけでした。そこから新工場を作り現在の状態になるまでたくさんの苦労があったと思います。今回は、入協が浅い職員へも言葉をいただきありがたかったです。微力ながら商品を食べることぐらいいしか協力できていませんがしいたけ入りのおとうふ揚げは私の酒のおともです。

(職員：Oさん)

人とのつながりを大事にする

強い思いを持った言葉の重みを改めて感じさせていたお話でした。簡単には言い表せない経験をされて、だからこそより人との繋がりを大事にする。当たり前の様に感じる毎日が当たり前ではなく、子供との時間、家族との時間、常総生協で働く時間、組合員さんとの時間、日常の何気ない時間を大事にしていきたいと思いました。生産者さんの思いを届けられる様、今後も頑張っていきます。

今回はズームでお話をお聞きしましたが、コロナが落ち着きましたら、ぜひ直接お会いしてお話を伺いたいですし、工場の見学もさせて頂きたいです。宜しくお願い致します。

(職員：Hさん)

考えて行動する

1度だけですが、泥かきを手伝わせていただいたことがあります。その日の作業終了後に、高橋社長が「皆さんの力をいただいてなんとかやっけていこうと思います」というような挨拶をされたその後ろで満潮になった海水が浸水してきて、本当に復活できるんだろうか？と正直なところは少し疑問を持っておりました。ですが、数年後には場所を変え、また大きく工場を作り、さらに新しい事業までなされるそのバイタリティーといいいましょか、エネルギーといいましょか、本当に敬意を持っております。

前半でおっしゃった「考えろ、考えろ」というのはとても大事で、私も気をつけていると事ですし、周りの人にも伝えてるところです。また人の心を大事にするというのも私はできれば社員と家族のように付き合いたいと思ってるので、共感いくところでした。ただ、現代は労働法の変更で効率を上げろという圧力はありますし、人付き合いを避けるような動き（個人情報だ、とか新型コロナだとか）もあり、やりたいこととぶつかってしまう部分があり、うまくバランス取りながら行かないといけないところだな、とも思いました。ご年齢のこともお話しされましたが、私も高橋社長の年齢を超えても働けるよう頑張ろうと思います。ありがとうございました。

(常総生協のシステムを委託しているSEより)

第103回 脱原発と暮らし見直し委員会 報告

2021年3月24日(水) Web会議 13時～16時 組合員17人参加。

Zoomを利用し、Web会議で開催しました。東海第二原発差止運転訴訟の判決についての解説や裁判の様子を報告し、セシウム測定値、10年後の土壌調査について話し合いました。

- 3/18に言い渡された東海第二原運転差止訴訟の勝訴判決について原告団共同代表の大石さんより解説を受けました。判決内容はニュースレターを参照してください。8年間、訴訟にかかわってきた方、応援してくださった方、大変お疲れ様でした。判決を不服として日本原電が控訴しましたが、原告も判決理由を不服として控訴する予定です。控訴審は水戸から舞台を東京に移して東京高等裁判所で争われます。今後も応援お願いします。
- 差止訴訟だけでなく、茨城県のワーキングチームへの意見書や原発立地自治体への申し入れなど来年秋以降に予定されている原電の再稼働を止めるための活動を強化していきます。
- 各地の放射性物質測定結果では、灰からストロンチウムが高い値で検出された例があります。
- 東日本大震災から10年後の土壌調査は、事故直後に汚染がひどかった地域の中から絞り込んだ地点を優先的に調査していくことになりました。委員会も協力していきます。

★次回は、5/12(水)13時半～の予定です。Web会議には生協からも参加できます。

委員会はどこでも自由に参加できます。参加希望の場合は常総生協HPの「組合員専用お問い合わせ」フォームから事前にご連絡ください。

種苗への遺伝子操作の表示を求める署名 ※今週配布しています。

ゲノム編集トマトの栽培や販売が認められました。このトマトには、種苗にも食品にも表示の必要がありません。このままでは知らないうちに栽培したり、食卓に登場することになりかねません。遺伝子組み換えやゲノム編集などで遺伝子操作された作物や家畜、魚などは、環境や食の安全に悪い影響をもたらす可能性があります。現在、食用の遺伝子組み換え作物は国内で栽培されていません。

しかし、ゲノム編集作物の栽培が進めば、遺伝子組み換え作物の栽培も進み、食卓にやってくる可能性があります。遺伝子組み換え食品については極めて不十分ながら表示義務があります。しかし、遺伝子組み換え作物の種子や苗には表示義務はありません。ゲノム編集された種子や苗にも表示義務はありません。

国内でゲノム編集作物が栽培されようとしている今、生産者が種苗の選択をするために表示は絶対に必要です。私たちは、遺伝子操作作物を栽培したくない生産者、遺伝子操作原料を使いたくない事業者、遺伝子操作食品を食べたくない消費者の選択の権利を求めます。

【要望事項】

種苗法第59条の表示項目の第6項「その他農林水産省令で定める事項」に、現在定められている「使用農薬の履歴」とともに、「育種における遺伝子操作の有無」を追加することを要望します。



春のお友だち 紹介キャンペーン

今回はお友達、組合員さんの両方に
シュークリームをプレゼント♪

2021年
5月31日(月)
お申し込み
分まで

紹介いただいた組合員さんも、新しく加入されたお友達にも嬉しい特典がいっぱい！

紹介された方の
特典 **お友達にプレゼント！**

紹介者
特典 **組合員にプレゼント！**

完熟トマトの爽やかマリネセット



セット内容



柏田中の完熟トマト 1kg



新玉ねぎ 1kg



食菜酢 360ml

+ Present



アーモンドクッキーシュー 3個

**3000円分相当の常総生協
利用クーポン券をプレゼント**

1枚1,000円に相当し、注文提出時に添付していただくと商品代金から精算致します。出資金への振替も可能です。



**今なら！
Present**



アーモンドクッキーシュー 3個